



平成29年7月31日

各 位

会社名 アピックヤマダ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 押森 広仁  
(コード番号 6300 東証二部)  
問合せ先 取締役企画部長 小出 篤  
(TEL. 026-275-2111)

(訂正) 「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年11月8日に開示いたしました「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 訂正内容及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

##### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 アピックヤマダ株式会社  
 コード番号 6300 URL <http://www.apicyamada.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押森 広仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 小出 篤 TEL 026-275-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,373	△3.2	△290	-	△328	-	△160	-
25年3月期第2四半期	4,520	△16.0	△288	-	△295	-	△132	-

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 79百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △118百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△12.91	-
25年3月期第2四半期	△10.64	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	10,927	4,137	37.9	333.03
25年3月期	10,385	4,058	39.1	326.59

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,137百万円 25年3月期 4,058百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期	-	0.00			
26年3月期(予想)			-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,790	31.2	130	-	200	-	190	-	15.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	12,969,000株	25年3月期	12,969,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	544,043株	25年3月期	543,266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	12,425,407株	25年3月期2Q	12,426,467株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成25年11月29日（金）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、金融緩和をはじめとした経済政策の期待感により、為替相場の円高是正や株価の回復、及び消費マインドや企業業績の改善が見られるなど景気回復の兆しがみられました。しかしながら、依然として世界経済の下振れリスクが懸念されており、市況は不透明な状況で推移しました。

当社の需要先である半導体業界においては、パソコンや液晶テレビの需要低迷が続き、これらに関する設備投資は低調に推移いたしました。一方、海外市場ではスマートフォン、タブレット端末向け及びLED関連が、国内市場では自動車関連向けで設備投資の動きが見られました。

このような事業環境において、当社グループは、平成24年4月にスタートさせた中期経営計画「Innovation 3」に基づき、経営基盤の強化と企業価値の増大を目指し、既存製品の市場開拓強化、トランスファー・コンプレッション・モールド(略称：TCM)など薄型パッケージ用の新製品の拡販及び新技術の開発等を精力的に行いました。国内市場においては車載系デバイス関連のパッケージ開発及び拡販を積極的に推進いたしました。

この他、遊休資産となっていた当社連結子会社のAPIC YAMAD (THAILAND) CO., LTD. の工場等を売却したことによる譲渡益を171百万円計上しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,373百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業損失は290百万円(前年同四半期は営業損失288百万円)、経常損失は328百万円(前年同四半期は経常損失295百万円)、四半期純損失は160百万円(前年同四半期は四半期純損失132百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①電子部品組立装置

電子部品組立装置につきましては、携帯端末機器向け、LED関連及び車載系などで設備投資の動きが見られ、受注・売上共にモールド装置中心に推移しました。この結果、売上高は2,930百万円(前年同四半期比3.2%増)、セグメント損失は29百万円(前年同四半期はセグメント利益60百万円)となりました。

## ②電子部品

主にリードフレームの生産である電子部品については、LED向け及び一般半導体向け共に価格競争が継続する厳しい環境のなかで、コスト削減など収益の改善に取り組みました。この結果、売上高は1,177百万円(前年同四半期比11.9%減)、セグメント利益は27百万円(前年同四半期はセグメント損失75百万円)となりました。

## ③その他

その他につきましては、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の販売であります。リードフレームを使用する半導体の設備投資につきましては慎重な状況が継続し、低調に推移いたしました。この結果、売上高は265百万円(前年同四半期比22.7%減)、セグメント利益は10百万円(前年同四半期比73.0%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、10,927百万円(前連結会計年度末は10,385百万円)となり、前連結会計年度末と比較して542百万円増加いたしました。これは主に、売掛金及びたな卸資産の増加によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、6,790百万円(前連結会計年度末は6,327百万円)となり、前連結会計年度末と比較して462百万円増加いたしました。これは主に、支払手形の増加によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、4,137百万円(前連結会計年度末は4,058百万円)となり、前連結会計年度末と比較して79百万円増加いたしました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金は減少しましたが、一方、円安に伴い為替換算調整勘定の赤字幅の縮小によるものであります。

なお、これらの要因により、自己資本比率は37.9%(前連結会計年度末は39.1%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比較して192百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には3,410百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は49百万円の増加(前年同期間は157百万円の増加)となりました。これは主にタイ子会社の災害による保険金収入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は237百万円の増加(前年同期間は6百万円の増加)となりました。これは主に遊休資産となっていたタイ子会社の工場の売却等有形固定資産の売却による収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は184百万円の減少(前年同期間は6百万円の減少)となりました。これは主に借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が継続しており、前連結会計年度までに2期連続で多額の営業損失を計上いたしました。このような状況により、当社グループが将来にわたって事業活動を継続するという前提に重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在しております。

この状況に対して当社グループは、平成24年度から3年間を対象とした事業構造改革・生産改革・営業改革の3つの改革(Innovation 3)を柱とした「中期経営計画」を策定し、諸施策を実行してまいりました。

この中期経営計画は、①半導体市場において劇的な環境変化に対応できる企業体質を構築し、新たな価値の創出により海外市場を中心にシェアの拡大を図ること、②シリコンサイクルに影響される事業形態からの脱却を目指し、新技術の開発を推進し新たな市場への参入と早期に収益化を図ることを目的として策定いたしました。当社グループは、この中期経営計画の着実な実現をとおして、既存の半導体事業の強化と新規事業の拡大を図り、これによる経営基盤の強化を強い決意で取組んでおります。

また、財務面に関しましては、当面の事業遂行上、十分な手元資金を有しておりますが、引き続きメインバンク等との良好な関係を維持し、安定的かつ弾力的な資金調達を行っていく所存であります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,217,351	3,410,103
受取手形及び売掛金	※ 1,448,249	※ 2,081,636
商品及び製品	773,203	930,069
仕掛品	951,408	995,444
原材料及び貯蔵品	182,998	159,786
その他	500,608	146,017
貸倒引当金	△2,629	△2,898
流動資産合計	7,071,191	7,720,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,053,445	1,042,523
機械装置及び運搬具(純額)	343,707	322,029
土地	607,899	511,589
その他(純額)	125,102	123,692
有形固定資産合計	2,130,154	1,999,836
無形固定資産	103,490	85,619
投資その他の資産		
その他	1,089,731	1,129,389
貸倒引当金	△8,920	△7,127
投資その他の資産合計	1,080,810	1,122,261
固定資産合計	3,314,456	3,207,717
資産合計	10,385,647	10,927,877
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	998,843	1,799,668
短期借入金	2,800,000	2,798,000
1年内返済予定の長期借入金	288,388	232,688
未払法人税等	11,878	11,045
賞与引当金	53,799	70,372
製品保証引当金	15,310	14,229
その他	625,206	467,790
流動負債合計	4,793,426	5,393,794
固定負債		
長期借入金	607,634	501,290
退職給付引当金	775,900	752,843
その他	150,487	142,074
固定負債合計	1,534,021	1,396,208
負債合計	6,327,447	6,790,002

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,837,500	5,837,500
利益剰余金	<u>△1,062,513</u>	<u>△1,222,908</u>
自己株式	△100,009	△100,101
株主資本合計	<u>4,674,977</u>	<u>4,514,489</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,861	5,442
為替換算調整勘定	△620,639	△382,056
その他の包括利益累計額合計	<u>△616,778</u>	<u>△376,614</u>
純資産合計	<u>4,058,199</u>	<u>4,137,875</u>
負債純資産合計	<u>10,385,647</u>	<u>10,927,877</u>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,520,130	4,373,437
売上原価	3,740,580	3,571,268
売上総利益	779,550	802,169
販売費及び一般管理費	※1 1,068,262	※1 1,092,209
営業損失(△)	△288,711	△290,039
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,754	3,137
為替差益	—	3,754
受取技術料	—	16,100
助成金収入	10,193	—
その他	30,630	28,586
営業外収益合計	42,578	51,578
営業外費用		
支払利息	37,488	37,448
持分法による投資損失	141	51,299
為替差損	4,729	—
売上債権売却損	1,335	297
その他	5,474	1,274
営業外費用合計	49,169	90,319
経常損失(△)	△295,302	△328,780
特別利益		
固定資産売却益	5	171,475
受取保険金	※2 163,308	—
特別利益合計	163,314	171,475
特別損失		
固定資産売却損	213	—
特別損失合計	213	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,201	△157,305
法人税、住民税及び事業税	2,657	3,090
法人税等調整額	△2,598	—
法人税等合計	58	3,090
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△132,259	△160,395
四半期純損失(△)	△132,259	△160,395

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△132,259</u>	<u>△160,395</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,729	1,581
為替換算調整勘定	12,123	141,217
持分法適用会社に対する持分相当額	9,594	97,364
その他の包括利益合計	<u>13,988</u>	<u>240,163</u>
四半期包括利益	<u>△118,271</u>	<u>79,768</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△118,271</u>	<u>79,768</u>

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△132,201</u>	<u>△157,305</u>
減価償却費	179,758	136,677
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,964	<u>△1,523</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,324	15,650
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△5,002	△1,081
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,093	△23,057
受取利息及び受取配当金	△1,754	△3,137
支払利息	37,488	37,448
為替差損益(△は益)	1,811	△35,042
持分法による投資損益(△は益)	141	51,299
固定資産売却損益(△は益)	207	△171,475
固定資産除却損	—	198
受取保険金	△163,308	—
売上債権の増減額(△は増加)	<u>12,089</u>	<u>△628,420</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	<u>79,577</u>	<u>△139,639</u>
未収消費税等の増減額(△は増加)	6,944	△1,997
その他の流動資産の増減額(△は増加)	<u>△7,168</u>	14,185
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,258	798,315
その他の負債の増減額(△は減少)	<u>244,696</u>	<u>△144,718</u>
その他	3,265	2,112
小計	<u>206,904</u>	<u>△251,512</u>
利息及び配当金の受取額	1,778	6,999
利息の支払額	△37,237	△37,527
法人税等の支払額	△10,185	△12,569
法人税等の還付額	6,431	216
災害損失の支払額	△10,062	—
保険金の受取額	—	343,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>157,629</u>	<u>49,527</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,537	△40,239
有形固定資産の売却による収入	21,583	277,902
無形固定資産の取得による支出	△4,318	△430
その他の支出	△490	△745
その他の収入	553	1,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>6,790</u>	<u>237,913</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	183,900	△2,000
長期借入金の返済による支出	△159,804	△162,044
自己株式の取得による支出	△203	△92
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△29,895	△19,886
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△6,003</u>	<u>△184,023</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,120	89,334
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>162,537</u>	<u>192,752</u>
現金及び現金同等物の期首残高	2,245,611	3,217,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,408,148	※ 3,410,103

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品 組立装置	電子部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>2,839,529</u>	1,337,225	<u>4,176,754</u>	343,376	<u>4,520,130</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	242	—	242	26,723	26,965
計	<u>2,839,771</u>	1,337,225	<u>4,176,997</u>	370,099	<u>4,547,096</u>
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	<u>60,582</u>	△75,383	<u>△14,800</u>	37,114	<u>22,313</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リード加工金型及びリードフレームプレス用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△14,800</u>
「その他」の区分の利益	37,114
セグメント間取引消去	234
全社費用(注)	△311,259
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△288,711</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品 組立装置	電子部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>2,930,274</u>	1,177,634	<u>4,107,909</u>	265,527	<u>4,373,437</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,646	—	1,646	12,943	14,590
計	<u>2,931,921</u>	1,177,634	<u>4,109,556</u>	278,471	<u>4,388,027</u>
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	<u>△29,507</u>	27,048	<u>△2,459</u>	10,014	<u>7,555</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リード加工金型及びリードフレームプレス用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△2,459</u>
「その他」の区分の利益	10,014
セグメント間取引消去	78
全社費用 (注)	<u>△297,673</u>
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	<u>△290,039</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。